

## 令和4年度 学校関係者評価報告書

### 評価及び成果・課題

#### <学校生活全体>

児童生徒アンケートのほとんどの項目で肯定的な回答が90%以上。「授業中友達や先生の話をしっかり聞いている」で96%、「困っている友達がいたら助けている」で97%であった。

保護者アンケートの「学校は、保護者が教育活動を理解する機会を多く設けている」で68%であった。R1の91%からR3は80%へと減り、さらに減る結果だった。学校からの情報発信について機会や方法を検討する必要がある。

児童生徒アンケートの「先生は、困ったことがあったら相談に応じてくれる」で92%、教職員の「いじめの早期発見を心がけ、適切な対応ができています」で100%であったが、保護者アンケートの「学校は、いじめに対して早期発見・対応ができています」では21%で、「わからない・評価しづらい」を選択する傾向にある。学校からの更なる情報発信や保護者と学校の連携を強く進めていく必要がある。4月の全国学力・学習状況調査では、6年9年とも、「困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」の項目で肯定的な回答がやや低かった。

#### <学習>

児童生徒アンケートの「先生はよくわかるように教えてくれる」で94%であったが、保護者の「お子さんは、学習内容を身につけている」で75%、「お子さんは、授業をわかりやすいと感じている」で61%と、学習者である児童生徒の授業や学習についてのとらえ方と、保護者の自分のお子さんから感じられた学習についての受け止め方に差があった。

全国学力・学習状況調査の結果は、6年生は自分の考えを持ち言葉でまとめることがやや苦手である。9年生は、全国・県の平均を上回っているが2極化が見られる。

#### <家庭学習>

保護者の「お子さんは、家庭学習の習慣が身につけている」で64%と、主体的な取り組みができるよう工夫する必要がある。

#### <ルールや決まり>

児童生徒アンケートの「学校のきまりや約束事をよく守っている」で96%、保護者の「お子さんは、社会のルールを守って生活している」で91%であった。

決まりよい生活を送っていることが、いろいろな活動に落ち着いてしっかりと取り組むことにつながっていると考えられる。

#### <地域学校協働活動>

本年度もたくさんの方の地域の方にお世話になり、学習を深めることができた。

<p>意見および改善のための提言</p>	<p>&lt;学校生活全体&gt; アンケート結果は概ねよいと感じる。「いじめ」についての保護者の評価が低い、学年ごとの分析をていねいにする必要がある。重大事象を見逃してはいけないが、中学生になると保護者が分からないことが増えても問題はないと思う。</p> <p>&lt;学習&gt; 外での学習がたくさんできるのはよいこと。学校にいないだけではできない活動を今後も継続してほしい。 ネット環境に慣れタブレットを使うことができるのは、社会人としては即戦力である。しかし、使うことができるだけでなく論理的な文章を書くことができるようにしておくのも大切である。報告書を書くことができない社会人も多いと感じている。プログラミングをすることができる人は、国語ができる人であるように思う。人数が少ない環境で、言葉が少なくても意思疎通ができることが多いので、意図的に授業の中で鍛えてほしい。入試でも書く問題が増えている。根拠をもとに説明する力をつけたい。 英語の力をもっとつけてほしい。</p> <p>&lt;地域学校協働活動&gt; たくさんの事例があることを町民にもっと発信してもよい。</p>
<p>その他意見・学校への要望等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月からコロナへの対応が大きく変わる。今後も行事を楽しむことができるように工夫してほしい。</li> <li>・町報に学園のことがたくさん載っており、児童生徒の活躍がよく分かる。</li> <li>・少人数ながら恵まれた環境を十分に生かし、児童・生徒は駅伝・スキー等で活躍していることを知り、大変うれしく思っている。</li> <li>・行事ごとに生徒会が作っている動画には感心する。暗記だけが学力ではなく、時代によって児童生徒が身に付ける力が変わってきていることを実感する。</li> </ul>